

第5部 挑戦する県庁への変革（素案）

「新たな総合計画」に基づく施策を効果的に進めるため、全ての施策展開を下支えする基盤として、「挑戦する県庁への変革」に向けた行財政運営の指針を示す。

基本理念

▶「活力があり、県民が日本一幸せな県」を実現するため県庁が様々な挑戦をしていくことが必要

未来に希望の持てる新しい茨城づくりに向けて「挑戦する県庁」への変革



基本方針

▶全体を貫くバックボーンとして3つの基本的な考えを設定

【県民本位】

「県民のためになっているか」
を常に考え、政策を実行

【積極果敢】

横並び意識を打破し
失敗を恐れずに挑戦

【選択と集中】

経営資源を
最大限効果的に活用

取組の柱

▶取組の柱として2つの変革を掲げ、特に力を入れて推進する方策を記載

取組Ⅰ

挑戦できる体制づくり

- 1 「人財」育成と実行力のある組織づくり
- 2 働き方改革の推進

取組Ⅱ

未来志向の財政運営

- 1 戦略的な予算編成と健全な財政構造の確立
- 2 出資団体改革の推進

○ 第5部 挑戦する県庁への変革（素案）

I 挑戦できる体制づくり

政策	基本的な考え	施策	推進事項
1 「人財」育成と実行力のある組織づくり	新たな発想で、諦めず、常識を疑い、自ら変わる勇気をもって、失敗を恐れず挑戦することができる職員づくりや組織づくりを進めます。	① 失敗を恐れずに挑戦する「人財」の育成	○ 「人財」育成 (主体的な能力開発の促進, 民間企業・海外等への派遣の拡大など)
		② スピード感を持って挑戦する実行力のある組織づくり	○ 人材確保 (民間出身者等の積極登用など)
2 働き方改革の推進	ICTを積極的に活用して「いつでもどこでも」効率的に仕事に取り組み, 県民のための本質的な仕事や, 現場に密着した仕事に注力できる環境づくりを進めます。	① 「いつでもどこでも」効率的に仕事ができる環境づくり	○ ICT環境の充実 (AIやRPAの導入検討など)
		② 仕事の生産性の向上	○ 柔軟な組織体制づくり
			○ 多様な主体との連携強化
			○ 県民本位の行政サービスの提供
			○ 多様で柔軟な働き方の推進 (時差出勤やテレワークの利用促進など)
			○ 本質的な仕事への深化 (事務事業の見直し)

II 未来志向の財政運営

政策	基本的な考え	施策	推進事項
1 戦略的な予算編成と健全な財政構造の確立	産業や人材の育成など, 将来世代の受益に繋がる事業に大胆に取り組むとともに, スクラップ・アンド・ビルドの徹底など限られた財源の有効活用を図り, 将来にわたって発展可能な, 健全な財政構造を確立します。	① 「選択と集中」による戦略的な予算編成	○ 好循環を生み出す施策への重点配分
		② 将来にわたって発展可能な健全な財政構造の確立	○ スクラップ・アンド・ビルドの徹底と事務事業の効率化
2 出資団体改革の推進	出資団体が効率的かつ効果的に運営され, その結果, 地域の振興及び県民生活の向上を促進し, 県民が更なる「豊かさ」を享受できるよう出資団体改革を着実に推進します。	○ 出資団体改革の推進	○ 公共投資の重点化・効率化等
			○ 幅広い手法による財源の確保
			○ 公営企業会計・特別会計の健全化の推進
			○ 財政健全化目標の設定と財政状況の見える化
			○ 出資団体のあり方の見直し
			○ 経営健全化の推進
			○ 自立的な経営の推進